

修正箇所			道路トンネル定期点検要領（令和6年9月）	道路トンネル定期点検要領（令和6年9月）	備考
章など	ページ	行など	【令和6年9月30日通知】	【令和7年3月14日通知】	
目次			目 次 <sup>㊦</sup>	目 次 <sup>㊦</sup>	
			＜第1章 共通＞ <sup>㊦</sup>	＜第1章 共通＞ <sup>㊦</sup>	
			1. 適用範囲 ..... 1 <sup>㊦</sup>	1. 適用範囲 ..... 1 <sup>㊦</sup>	
			2. 用語の定義 ..... 2 <sup>㊦</sup>	2. 用語の定義 ..... 2 <sup>㊦</sup>	
			3. 定期点検の目的 ..... 4 <sup>㊦</sup>	3. 定期点検の目的 ..... 4 <sup>㊦</sup>	
			4. 定期点検の頻度 ..... 6 <sup>㊦</sup>	4. 定期点検の頻度 ..... 6 <sup>㊦</sup>	
			5. 定期点検の体制 ..... 7 <sup>㊦</sup>	5. 定期点検の体制 ..... 7 <sup>㊦</sup>	
			6. 道路トンネル毎の健全性の診断の区分の決定 ..... 8 <sup>㊦</sup>	6. 道路トンネル毎の健全性の診断の区分の決定 ..... 8 <sup>㊦</sup>	
			7. 定期点検結果の記録 ..... 11 <sup>㊦</sup>	7. 定期点検結果の記録 ..... 11 <sup>㊦</sup>	
			＜第2章 点検・診断＞ <sup>㊦</sup>	＜第2章 点検・診断＞ <sup>㊦</sup>	
		1. 総則 ..... 14 <sup>㊦</sup>	1. 総則 ..... 12 <sup>㊦</sup>		
		2. 点検・診断の実施体制 ..... 16 <sup>㊦</sup>	2. 点検・診断の実施体制 ..... 14 <sup>㊦</sup>		
		3. 状態の把握 ..... 17 <sup>㊦</sup>	3. 状態の把握 ..... 15 <sup>㊦</sup>		
		4. 技術的な評価と措置の必要性の検討 ..... 26 <sup>㊦</sup>	4. 技術的な評価と措置の必要性の検討 ..... 24 <sup>㊦</sup>		
		4. 1 総則 ..... 26 <sup>㊦</sup>	4. 1 総則 ..... 24 <sup>㊦</sup>		
		4. 2 トンネルの区間毎の性能の推定 ..... 27 <sup>㊦</sup>	4. 2 トンネルの区間毎の性能の推定 ..... 25 <sup>㊦</sup>		
		4. 3 トンネルの区間毎の措置の必要性の検討 ..... 31 <sup>㊦</sup>	4. 3 トンネルの区間毎の措置の必要性の検討 ..... 29 <sup>㊦</sup>		
		4. 4 附属物等の取付状態に対する性能の推定と措置の必要性の検討 ..... 34 <sup>㊦</sup>	4. 4 附属物等の取付状態に対する性能の推定と措置の必要性の検討 ..... 32 <sup>㊦</sup>		
		5. 点検・診断結果の記録 ..... 36 <sup>㊦</sup>	5. 点検・診断結果の記録 ..... 34 <sup>㊦</sup>		
		＜第3章 状態の記録＞ <sup>㊦</sup>	＜第3章 状態の記録＞ <sup>㊦</sup>		
		1. 総則 ..... 36 <sup>㊦</sup>	1. 総則 ..... 35 <sup>㊦</sup>		
		2. 状態の記録の目的 ..... 37 <sup>㊦</sup>	2. 状態の記録の目的 ..... 36 <sup>㊦</sup>		
		3. 状態の記録の実施体制 ..... 38 <sup>㊦</sup>	3. 状態の記録の実施体制 ..... 37 <sup>㊦</sup>		
		4. 変状規模の整理 ..... 39 <sup>㊦</sup>	4. 変状規模の整理 ..... 38 <sup>㊦</sup>		
		5. 記録 ..... 40 <sup>㊦</sup>	5. 記録 ..... 39 <sup>㊦</sup>		
		定期点検記録様式 <sup>㊦</sup>	定期点検記録様式 <sup>㊦</sup>		
		付録 道路トンネル定期点検結果の記入要領 <sup>㊦</sup>	付録 道路トンネル定期点検結果の記入要領 <sup>㊦</sup>		
		参考資料 国が管理する道路トンネルの対策区分及び異常判定区分の決定例 <sup>㊦</sup>	参考資料 国が管理する道路トンネルの対策区分及び異常判定区分の決定例 <sup>㊦</sup>		

修正箇所			道路トンネル定期点検要領（令和6年9月）	道路トンネル定期点検要領（令和6年9月）	備考
章など	ページ	行など	【令和6年9月30日通知】	【令和7年3月14日通知】	
第2章 目次			<p style="text-align: center;">第2章 点検・診断 目次</p> <p>←</p> <p>1. 総則 ..... 12←</p> <p>←</p> <p>2. 点検・診断の実施体制 ..... 14←</p> <p>←</p> <p>3. 状態の把握 ..... 15←</p> <p>←</p> <p>4. 技術的な評価と措置の必要性の検討 ..... 24←</p> <p>4. 1 総則 ..... 24←</p> <p>4. 2 トンネルの区間毎の性能の推定..... 25←</p> <p>4. 3 トンネルの区間毎の措置の必要性の検討 ..... 29←</p> <p>4. 4 附属物等の取付状態に対する性能の推定と措置の必要性の検討 ..... 32←</p> <p>←</p> <p>5. 点検・診断結果の記録 ..... 34←</p> <p>←</p> <p>←</p>	<p style="text-align: center;">第2章 点検・診断 目次</p> <p>←</p> <p>1. 総則 ..... 12←</p> <p>←</p> <p>2. 点検・診断の実施体制 ..... 14←</p> <p>←</p> <p>3. 状態の把握 ..... 15←</p> <p>←</p> <p>4. 技術的な評価と措置の必要性の検討 ..... 24←</p> <p>4. 1 総則 ..... 24←</p> <p>4. 2 トンネルの区間毎の性能の推定..... 25←</p> <p>4. 3 トンネルの区間毎の措置の必要性の検討 ..... 29←</p> <p>4. 4 附属物等の取付状態に対する性能の推定と措置の必要性の検討 ..... 32←</p> <p>←</p> <p>5. 点検・診断結果の記録 ..... 34←</p> <p>←</p> <p>←</p>	
				←	←

修正箇所			道路トンネル定期点検要領（令和6年9月） 【令和6年9月30日通知】	道路トンネル定期点検要領（令和6年9月） 【令和7年3月14日通知】	備考
章など	ページ	行など			
2章	48	12～32	<p>以上の検討の結果は、所見としてまとめる。このとき、所見には以下の観点を含むものとする。この他の所見の記述の留意点は、付録による。</p> <p>○トンネル全体に対する技術的見解の総括、及び、トンネルの区間などに対して、<u>施設の状態及び次回点検までに必要な補修や補強等の対策の必要性やその理由が容易に理解できるように記述する。</u></p> <p>○所見には「健全性の診断の区分」の決定に影響する、<u>道路トンネルの構造物としての安全性や安定、道路利用者や第三者被害発生の可能性、予防保全の必要性の観点からの技術的見解やその理由が容易に理解できるように記述する。</u></p> <p>○ライフサイクルコストの視点からの技術的な見解についても記述する。多くの道路トンネルでは、様々な種類の変状が多く発生しており、効果的かつ合理的な維持管理の観点からは、<u>次回点検までに変状の進展や拡大の防止措置などを行うことが望ましいものも多くある。</u></p>	<p>以上の検討の結果は、所見としてまとめる。このとき、所見には以下の観点を含むものとする。この他の所見の記述の留意点は、付録による。</p> <p>○トンネル全体に対する技術的見解の総括を記述する。そこには、<u>構造物としての安全性や安定、道路利用者や第三者被害発生の可能性、予防保全の必要性の観点からのトンネルの区間の状態についての技術的見解を含めるものとする。技術的見解には、工学的な見解の理由を添える。</u></p> <p>○トンネルの「健全性の診断の区分」の決定に影響する、<u>トンネルの区間毎それぞれの補修や補強等の対策の必要性、構造物としての安全性や安定、道路利用者や第三者被害発生の可能性、予防保全の必要性の観点からの対策の目的及び対策までの間の監視の必要性についての技術的見解を含めるものとする。技術的見解には、工学的な見解の理由を添える。</u></p> <p>○施設のライフサイクルコストの視点から望ましい措置についての技術的な見解も含める。多くの道路トンネルでは、様々な種類の変状が<u>様々な箇所に発生し得る。それらの変状を総合的に見て、ライフサイクルコストに及ぼす影響の観点や新たな変状を引き起こす可能性など</u>の観点から次回定期点検までの維持修繕の実施を考えることはトンネルの長寿命化を考える上で重要である。</p>	4.3 解説



